



## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 信太 明  
 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	1,180	△3.5	△31	—	△6	—	△6	—
26年5月期第3四半期	1,222	22.2	△17	—	△2	—	1	—

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 18百万円 (—%) 26年5月期第3四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	△0.86	—
26年5月期第3四半期	0.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第3四半期	965	716	74.2
26年5月期	917	698	76.2

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 716百万円 26年5月期 698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 5月期の連結業績予想(平成26年 6月 1日～平成27年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,037	21.3	20	—	20	—	20	—	2.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	7,502,800 株	26年5月期	7,502,800 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	— 株	26年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	7,502,800 株	26年5月期3Q	7,459,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年6月1日～平成27年2月28日）におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が一巡し、個人消費が徐々に回復の兆しを見せつつあります。また、継続的な円安の影響やビザ受給要件の緩和等により、訪日外国人旅行者数が過去最高を更新するなど、内需を下支えする要因となっております。一方、中国をはじめとする新興国の景気減速など、世界経済は潜在的な下押しリスクを抱えており、景気の先行きは未だ不透明な状況で推移しております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場につきましては、スマートフォン市場の成長や動画広告、広告配信などの浸透により、平成26年のインターネット広告費は1兆519億円（前年比12.1%増）と前年を上回る伸び率となっております（株式会社電通「2014年 日本の広告費」）。

このような状況の中、当社グループは収益力の回復と拡大を最優先課題とし、当第3四半期連結会計期間においては、日系企業向け海外SEMサービスの販売体制の強化、海外法人における高付加価値サービスの提供、新規事業におけるサービスの拡充を実施してまいりました。

まず、国内の既存事業においては、日本企業の海外進出需要やインバウンド需要の増加に伴い、多言語SEM領域における販売体制の整備・強化を実施いたしました。進出国ごとに異なる顧客ニーズに対応するため、海外現地法人との連携を強化し、現地から得られるマーケティング情報を活用した付加価値の高いサービスの提供が可能となりました。結果として、主に多言語SEM領域における契約件数が増加し、当社サービスにおける多言語サービス比率も高まりつつあります。一方で、国内向け成果報酬型SEOサービスについては営業活動をさらに推進し、販売数増加の兆しはみられますが、サービスの特性上、大幅に収益を回復するまでには至らず、引き続き施策の精度向上と開発を進めてまいります。

次に、海外法人においては、当第2四半期連結累計期間に引き続き、成果報酬型SEOサービスの販売をより一層強化いたしました。また、SEMサービスに限らず、現地マーケットに即した新しい広告サービスの販売にも注力しております。現地のローカルスタッフの採用、教育についても順調に進行しており、結果、引き続き海外法人全体では高い収益性を維持しております。

最後に、当第1四半期連結累計期間に公開した海外進出支援ソーシャルサイト「The Oceanz（ジ・オーシャンズ）」については、フィリピン、インドネシア、ミャンマーなど、サービス提供国を拡充し、ユーザビリティの向上に取り組みました。海外法人領域における発展的拡大へ向けて、次の段階への準備に取り組むことが出来ました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,180,011千円（前年同期比3.5%減）、営業損失は31,669千円（前年同期は営業損失17,208千円）、経常損失は6,001千円（前年同期は経常損失2,786千円）、四半期純損失は6,457千円（前年同期は四半期純利益1,261千円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、888,812千円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、76,647千円となりました。これは、主に減価償却累計額の増加によるものであります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、242,141千円となりました。これは、主に前受金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて185.6%増加し、6,501千円となりました。これは、主に繰延税金負債の増加によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、716,816千円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成26年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	590,966	639,680
受取手形及び売掛金	243,134	242,428
仕掛品	1,156	715
その他	16,773	19,786
貸倒引当金	△12,791	△13,798
流動資産合計	839,238	888,812
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,092	22,818
減価償却累計額	△11,988	△13,717
建物(純額)	8,103	9,100
工具、器具及び備品	36,041	38,527
減価償却累計額	△25,492	△28,376
工具、器具及び備品(純額)	10,549	10,151
有形固定資産合計	18,653	19,252
無形固定資産		
のれん	105	-
ソフトウェア	7,513	4,312
無形固定資産合計	7,618	4,312
投資その他の資産		
投資有価証券	16,194	19,030
敷金及び保証金	35,362	34,051
その他	-	539
貸倒引当金	-	△539
投資その他の資産合計	51,557	53,082
固定資産合計	77,828	76,647
資産合計	917,067	965,459
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,365	143,636
未払費用	27,671	22,723
未払法人税等	1,942	1,124
前受金	10,512	30,840
その他	36,816	43,815
流動負債合計	216,309	242,141
固定負債		
リース債務	432	-
繰延税金負債	1,843	6,501
固定負債合計	2,276	6,501
負債合計	218,585	248,643

アウンコンサルティング(株)(2459)  
平成27年5月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△127,993	△134,451
株主資本合計	685,018	678,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,329	11,740
為替換算調整勘定	10,031	26,412
その他の包括利益累計額合計	13,360	38,153
新株予約権	102	102
純資産合計	698,481	716,816
負債純資産合計	917,067	965,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,222,682	1,180,011
売上原価	931,736	908,886
売上総利益	290,945	271,124
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	308,153	302,793
営業損失(△)	△17,208	△31,669
営業外収益		
受取利息	187	137
解約手数料等	1,481	409
未払配当金除斥益	315	168
投資事業組合運用益	12,867	20,150
為替差益	-	2,562
その他	1,022	2,320
営業外収益合計	15,875	25,748
営業外費用		
支払利息	76	33
為替差損	1,274	-
その他	103	47
営業外費用合計	1,453	81
経常損失(△)	△2,786	△6,001
特別利益		
関係会社株式売却益	5,088	-
新株予約権戻入益	15	-
特別利益合計	5,103	-
特別損失		
固定資産売却損	621	21
特別損失合計	621	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,696	△6,022
法人税、住民税及び事業税	435	435
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	1,261	△6,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,261	△6,457

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	1,261	△6,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298	8,411
為替換算調整勘定	△6,931	16,381
その他の包括利益合計	△6,633	24,792
四半期包括利益	△5,372	18,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,372	18,334

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。